

篠ノ井高等学校 定時制だより

～ 自分らしくいられるために ～

令和6年1月発行

定時制の「総合的な探究の時間」

篠ノ井高校定時制では、4月より「探究学習」を全校で継続しています。今年の探究学習は「ミニ探究」からスタートしました。今年の「ミニ探究」のテーマは『身の回りにおける人権問題』と『自分にとっての道徳とは』でした。自身で選択したテーマを調べ探究しレポートにまとめ表現するところまで1学期で行いました。

その後、生活体験発表大会の原稿を作成し、各学年ごと発表を行い、学年の代表者による校内選考大会まで行い、学校代表として北信大会に出場する代表者の選考を行いました。

その後、夏休みからは「職業探究」が始まり、職業調べから自分に適した職業を調べ発表します。

探究学習のラストは生徒会誌『若鮎』の原稿作成で一年間の探究学習を終了します。



キャリア教育講演会

～卒業生から職業観を学ぶ～

定時制「探究学習」の一環として、夏休み中の8月7日（月）にキャリア教育講演会が行われました。今年、本校定時制の卒業生4名（就職者4名）が来校し、高校時代の思い出や現在の仕事の様子を一人ひとりが話してくれました。

その後、在校生からの質問に答えながら、生徒のキャリア教育が進められました。就職した先輩から「高校時代に、もっと漢字を勉強しておけばよかった。」「もっと語彙力を増やしておけば…」など本音も飛び出し、後輩を激励してくれました。

進学先から今年度就職した先輩からは、「働くのは、本当に大変」「先輩が…」と生々しい現実を聞け、貴重な刺激となりました。



第57回北信高等学校定時制通信制 生活体験発表大会

生活体験発表北信大会が9月8日（金）に若里市民文化ホールを会場に行われました。会場に発表者と各校の定時制通信制に通う全生徒、及び保護者等が4年ぶりに参集し行われました。

北信地区の定時制通信制の学校代表者7名の参加がありました。篠ノ井高校定時制からは、校内の選考を勝ち上がった4年生の樽田來実さんが「五年間の高校生活」のタイトルで発表しました。とても落ち着いた発表態度で堂々と自身の生活体験を語り、見事『優秀賞』を獲得し、県大会への出場を決めました。篠ノ井高校からの県大会出場は久しぶりです。県大会は10月7日（土）に東御市文化会館で行われ、各地区の代表10名が参加しました。樽田さんは、県大会でも北信大会以上に堂々と発表し、ここでも『優秀賞』を受賞しました。全国大会には『最優秀賞』のみが参加で、誠に残念でしたが大健闘でした。樽田さんの発表は、審査員の講評の中でも「自身の高校生活を正面から向き合い、今後の大きな夢を語る事ができているのは大変素晴らしい。」と最大限の賛辞をいただき、本人にとっても大きな自信になったと思います。

篠ノ井高等学校 4年
樽田 來実



閉会式

1. 成績発表 講評
2. 表彰
3. 大会委員長挨拶



秋季体育大会 バドミントン



2学期中間考査が終わった9月26日（火）定時制「秋季体育大会」が行われました。今回の種目はバドミントン、事前にペアが決められ予選リーグから順位決定リーグと行われました。男女のペアもあれば、先生と生徒のペアもあり…もちろん対戦も学年は全く関係なしです。予選リーグから順位決定リーグと熱戦が繰り広げられ篠ノ井高校定時制らしい、本当に「アットホーム」なスポーツイベントになりました。



『校外学習』 富士急ハイランドへ

10月6日（金）定時制の『校外学習』が行われました。昨年は新潟県「上越水族館」と「フォッサマグナミュージアム」に行きました。今年は、生徒間で何度も議論を重ね、当初は「千葉県の…」某テーマパークも候補にあがったようですが、結局「富士急ハイランド」に決まりました。

本校定時制では『他者と協働して行動する力』『自主的に社会参加できる力』『多様な人とコミュニケーションをとれる力』等の育成を目指しています。そのためには学校行事の意義は大きく、特にこの『校外学習』は生徒の成長にとって大切な行事と捉えています。

いつもより、とっとも早い9時に学校を大型バス一台で出発し、まっすぐ山梨県に向かいました。快晴に恵まれ、長野県から山梨県の県境あたりから富士山がとてもきれいに見え、いやおうなしに気分も高まりました。お昼頃には「富士急ハイランド」に到着し、まずは、全員で定番スポットにて記念撮影！



風の影響で一部アトラクションが運転できないハプニングはありましたが、「FUJIYAMA」「ド・ドドンパ」「高飛車」「お化け屋敷」「トーマスランド」…童心にかえり満喫しました。風がおさまり、全てのアトラクションが運行しだしたら…帰りのお時間になってしまいました。行き帰りのバスの中も含め、楽しい充実した一日となりました。